



No. 244

令和元年12月10日
編集：区議会だより編集委員会
発行：千代田区議会
〒102 - 8688 千代田区九段南 1-2-1
☎ 03-5211-4297 (直通)
ファクシミリ 03-3288-5920

第3回 定例区議会



一般社団法人 千代田区観光協会 第2回東京大回廊写真コンテスト 魅力発見発掘賞「幻想の秋夜」蓮見 幸徳

トップニュース

Top News

「平成30年度千代田区各会計歳入歳出決算の認定について」は継続審査に

(詳細は8ページをご覧ください。)

「予防接種の円滑な実施を求める意見書」を可決

■安全かつ安定的な予防接種を継続するために、国が責任をもって実施に必要な財源を確保することを強く求める意見書を、全会一致で可決しました。(詳細は8ページをご覧ください。)

「区立お茶の水小学校・幼稚園解体工事請負契約について」を可決

■区立お茶の水小学校・幼稚園解体工事請負契約を締結するため、千代田区議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定(予定価格1億5,000万円以上の工事)に基づき、議会の議決に付し、全会一致で可決しました。(詳細は6ページをご覧ください。)

主な内容

- 代表質問 2 面
- 一般質問 3 ～ 5 面
- 定例区議会活動報告等 6 ～ 8 面
- 可決した意見書等 8 ～ 9 面
- 議案の審議結果等 10 面

提案された議案等

- ◆区長提出議案
 - ・決算 1 件
 - ・条例 10 件
 - ・契約 2 件
 - ・指定管理者の指定 1 件
 - ・報告 3 件
- ◆委員会提出議案
 - ・意見書 1 件
- ◆議員提出議案
 - ・条例 1 件
 - ・意見書 1 件
 - ・決議等 2 件



●ホームページアドレス
<https://gikai-chiyoda-tokyo.jp>



●メールアドレス
kugikai@city.chiyoda.lg.jp

●公式 Twitter
[@Chiyoda_Kugikai](https://twitter.com/Chiyoda_Kugikai) (千代田区議会)

*区議会だよりは、新聞折込で配布しています。購読していない区内在住・区内事業者の方には郵送いたします。また、音声版(CD)、点字版も作成しています。

区内在住でご希望の方は、区議会事務局☎03-5211-4297(直通)までご連絡ください。

*区議会だよりは区議会ホームページでもご覧になれます。また、区議会の最新情報をお届けする「区議会公式Twitter」も発信していますのでぜひご利用ください。

令和元年第3回定例区議会

代表質問 (要旨)

議員紹介は
こちらから

※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

千代田区議会 自由民主党



林 則行

石川区政19年の総括と決算審査

問 継続審査となった29年度決算を受け、30年度予算執行及び決算審査への姿勢と、石川区政19年の総括を問う。

答 審査を重く受け、着実な事業推進や各部の連携・調整、適正な予算執行を進めている。今私の気持ちは論語の「従心」という思いで歩んで参りたい。

東郷元帥記念公園の早期全面開園を

問 当公園は基準超の鉛が検出され閉鎖中だが、地域の要望を踏まえ早期に全面開園すべき。上、中、下段の三段階の方式を改め、下段を早期に整備する「二段階工事方式」で工期の短縮を。

答 まずは下段の早期全面開放と工期短縮を目指し、二段階方式を含めて可能な方策を検討し、早急に取り組む。



今後の障害者施策について

問 身体・知的・精神の三障害に対応する障害者福祉センターえみふる、障害者の相談窓口として新設されたモフカの位置付けと、今後の区の対応は。

答 精神障害への支援は想定以上に専門性が必要で、相談支援機能の確保や利用者の居場所づくりのためモフカを新設した。今後はえみふるとモフカの両方で多様なニーズに対応していく。

日本共産党区議団



木村 正明

地震対策の強化を

問 ①改定中の都市計画マスタープランに地震学者の知見を反映させるべき②平成30年3月末に廃止された家具転倒防止取付工事助成を復活させ、恒常的制度として確立することを提案する。

答 ①都市防災について知見が深い委員が参画する検討部会を設置。耐震化促進や復興事前準備等、議論を行っている②全世帯の6割が安全対策を行っており当初の事業目的が達成されたと判断。本事業を改めて再開はしない。



地球温暖化対策について

問 区はCO₂排出量増大の理由を建物床面積の増加と分析したが削減方法は。

答 新築建築物の低炭素化に力を入れ、積極的に環境対策を施すよう誘導した。その結果、床面積が増加したもののエネルギー消費量は減少しており、CO₂排出量の削減も可能であると考える。

公共施設の整備と運営について

問 ①住民合意のない四番町図書館・区営四番町アパートの建て替えを見送るべき②文化財を有する施設では職員や収蔵庫が不足。現場の声に耳を傾け人的補強と収蔵スペースの確保を求める。

答 ①議会で十分議論し決定した。実現に向け関係住民に丁寧な説明を行っていく②学芸員を専門分野ごとに配置する体制の検討や文化財資料の保存管理に必要な施設の整備を早急に進める。

公明党議員団



米田 かずや

本年の災害に対する検証と課題

問 区が行った検証と浮き彫りになった課題とは。また、現在の防災対策の見直しについて問う。

答 職員を被災地に派遣し視察を通じて現場を見ること、被災地の職員や住民の生の声を聞くことで、被災地の実態を検証し本区の災害対策を見直す。

計画運休対策と非常用発電の点検を

問 ①今後、公共交通機関の計画運休が増えると予想される。事前対応を整えることが重要だが対策は②区施設で、緊急時に非常用発電が作動し、問題なく運営できるか点検・訓練を行うべき。

答 ①所管の職員や職員住宅入居者には宿泊や待機命令をし24時間体制で情報連絡態勢を敷いている②非常用発電の定期点検は実施。電力会社の通電を停止した訓練は調整が必要であり、施設の選定等今後研究していく。

外部講師を活用したがん教育を

問 命の大切さを学ぶ「がん教育」を推進するため、子どもへの啓発効果が特に大きい医療専門家や闘病経験者を招いての授業や講演を区内の小中学校で行うべき。

答 文部科学省のガイドライン等を元に検討し、令和3年度から区内の全公立学校にて授業を実施したい。



令和元年第3回定例区議会

一般質問 (要旨)



議員紹介は
こちらから

※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

嶋崎 秀彦

(自民)



障害児ケアプランについて

問 障害児ケアプランは、個別ケアプランの作成、子育てカルテによる情報の一元管理、児童福祉法による障害児相談支援の3つの柱から構成され、医療機関や学校、保健福祉部等、関係機関の情報の連携が重要①情報の連携とサービスのプランニングの方法は②重度障害児の保護者への対応状況は③現時点での状況と今後のスケジュールは。

答 ①実務者レベルの作業部会を立ち上げ、早期発見と早期支援のケアを含め、切れ目のない支援の実現に向けて連携の充実を図る②在宅で訪問看護師による医療的ケアを受けられるサービスを平成30年度から実施。周知の拡充を図る③7月下旬にさくらキッズ登録児童のうち希望者30名のプラン作成を開始。11月から一般の児童向けプランの作成を開始する予定。

河合 良郎

(自民)



ギフテッド教育を目指して

問 ギフテッド（生まれつき高度な知的能力を持つ人）である生徒は一般的な教育方法では、授業に興味を湧かない等の理由から能力を発揮できないため、その才能を最大限に活かせる教育プログラムの導入が望まれている。多くの大学や企業がある本区で、産学官と連携することで産業や学術の世界でリーダーに成り得る人材の育成が可能となると考えるが区の見解は。

答 個性を重視し可能性を伸ばす教育を進める中で、企業や大学と連携し、子どもたちの能力を存分に生かすことを考える必要があると認識。

IQ 130



永田 壮一

(自民)



風評被害対応について

問 放射性物質関連の測定を続けることは風評に繋がらないか。特に災害時のデマ、SNS対策が重要。

答 測定停止は慎重に検討。風評やデマには正確な情報収集と発信で対応。

街路樹管理について

問 台風15号の暴風で62本の倒木が区内で発生した。緑化、景観も大切だが安全優先の樹木管理が必要。

答 台風翌日の早朝から緊急対応を実施し、10日間程で全て復旧。区の樹木の維持管理方針の見直しを検討する。



大串 ひろやす

(公明)



保育・教育の質の確保と向上を

問 ①児童福祉法の改正や保育指針の改訂等、保育・子育てに関する制度が変わる中、幼児教育・保育に対する区の考え方を問う②保育の質を確保し向上するには、子どもへの大人の関わり方が重要であり、そのことが記述されている「就学前プログラム」の更新を提案する③区の保育・教育に対する考え方や「就学前プログラム」を誰にでもわかりやすい冊子にしては。

答 ①区の保育・教育の方向性と国の一連の改定は軌を一にするものである。乳幼児期は心身発達の基礎が形成される重要な時期であり、今後も保育・教育の充実に努める②「就学前プログラム」は国の改訂内容を入れ更新する③冊子の作成についても検討する。

内田 直之

(自民)



基金の活用基準と再編成の活用

問 ①基金残高は約1150億円で予算規模の約2倍。本区の基金適正規模、再編成後の活用状況は②自然・人為的災害も想定した災害対策基金の拡充を。

答 ①令和2年度予算編成で基金再編の振り返りと今後の活用を改めて整理する②災害への対応は大変重要と認識。基金についても考え方を整理したい。

都市特性評価の活用

問 森記念財団による都市の魅力等を多角的に分析した都市特性評価で、本区は23区中1位と住みやすいまちを目指す区の姿勢が伝わる結果となった。この評価を改定中の都市計画マスタープラン等の参考にすべきでは。

答 区の都市特性や強みとして参照している。的確に活用し計画策定等に取り組む。

小枝 すみ子

(声)



マンション再生支援策拡充の必要性

問 ①区内マンションの年平均供給数と増加要因は②マンションの量的拡大は限界。区の認識と対策は③リノベーション再生への誘導策の強化が必要。

答 ①年平均11棟、705戸。人々の都心回帰の意向を受けマンション建設が進んだため②人口回復の住宅供給から住環境整備へ政策を変更③リノベーションや大規模修繕等の施策を推進。

地域別まちづくり意見交換会の必要性

問 マスタープラン策定に際し、地域のさまざまな立場の方が、まちづくりについて話し合う場を設け、議論した内容の見える化を図るべき。

答 公聴会の運営方法や地域別での開催を検討中。地域から意見聴取、情報の見える化についても取り組む。

令和元年第3回定例区議会

一般質問 (要旨)



議員紹介は
こちらから

※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

長谷川 みえこ (紡ぐ会)



あおぞらふれあい回収の定期実施

問 当事業は試行として区職員が区の公園等に出向き、ごみの分別や危険物の扱い方等について区民の相談に答え、普段ごみとして出せない園芸土や廃食用油等の回収を行ったもの。区民のニーズに対応した当事業の定期実施を。

答 課題を整理し、地域主体の対応ができるか等を含め定期実施を検討する。

万世会館・清掃事務所の施設整備

問 老朽化が進む中、建て替えによる休業や移転が困難な両施設の機能更新・施設整備の進捗と今後の見通しは。

答 意見交換会や説明会を開催し、整備に向けた検討に努めてきた。今後も地域の意見を踏まえ、地権者相互の理解を深めながら、機能更新の手法や進め方を検討し、整備に早急に取り組む。

西岡 めぐみ (自民)



災害備蓄、液体ミルクの常備について

問 乳児用液体ミルクは、災害時の利便性や栄養面に優れており、備蓄品として各避難所に一定数を確保すべき。保護者が実際に使用し慣れる機会を設けるとともに、専門家の意見も踏まえ、学校給食や介護施設での使用等、消費期限内の有効な再活用の方法や備蓄品の検討が必要。

答 保護者が使用してその有用性を知る機会を作るとともに、議員提案の内容や専門家の意見、他区の状況等を参考に、有効な再活用方法を検討する。配備基準の定期的な見直しを継続する。



うがい 友義 (自民)



道路を利用したまちづくりについて

問 道路の安全・安心を確保するとともに、コミュニティ交流やにぎわい創出の拠点となる公共空間として活用していくべき①道路を車から人中心の空間に転換し、イベント時のみでなく日常も見据えて利活用するまちづくりを推進すべき②国が企画する、居心地がよく歩きたくなるまちなかの形成を目指す「ウォーカブル推進都市」への区の参画予定は。

答 ①人中心の道づくりという考えを基本に、丸の内仲通りや神田警察通りの社会実験の支援等に取り組んできた。車と人の関係を見直すため、駐車場の適正配置の検討も進めている②都市計画マスタープラン改定の検討の中でまちづくりと道路空間のあり方の議論も踏まえ、ウォーカブル推進都市への参画もあわせて検討を進める。

桜井 ただし (自民)



選挙での事務効率化について

問 投票所の混雑緩和や従事職員の負担軽減のため、選挙日当日にバーコードを活用した投票システム導入を。

答 導入に向け検討する。

本庁舎のPFI事業について

問 ①PFI事業による維持管理の評価は②令和2年度末事業終了後の対応は。

答 ①一体発注による効率化により費用低減が図られた②業務委託形式で検討中。PFI事業時のデメリットを解消できるよう国と協議・検討を進める。



千代田区役所本庁舎

池田 とものり (自民)



食品ロス削減推進法が施行され

問 ①今後の具体的な対策は②宴席等の外食時、乾杯後の30分とお開き前の10分は自席で料理を楽しみ食べ残しを減らす「30・10運動」の推進を提案する③学校給食における食品ロス削減について教育委員会の見解は④飲食店で個人が取れる削減行動は自分の食べられる量を店に申告すること。行政は食べきり協力店を登録して「食品ロス削減推進店」の登録済ポスターを明示する等の取組みを。

答 ①フードドライブ(家庭で余った食品を持ち寄り、配布団体を通して福祉団体等に寄付する事業)を試行し検討中②食品衛生講習会で啓発中。一層PR活動に取り組む③世界食糧デーに合わせ10月の行事食に賞味期限の近くなった保存食ビスケットの活用等、食品ロスを課題として認識し啓発している④保健所等と連携し実現の可能性を検討。

たかざわ 秀行 (自民)



地域包括ケアシステムについて

問 高齢者介護は在宅支援が重要課題。医療と介護等を総合的に支援する「地域包括ケアシステム」の構築が求められている。本区システムの構築状況は。

答 退院後の療養生活に対する不安解消のため、病院の医療ソーシャルワーカーと高齢者あんしんセンター、ケアマネージャーが連携し、医療・介護と生活支援サービスを合わせて在宅生活を支援するチームケアの体制を整備中。

ごみ屋敷・空き家・餌やり問題

問 全国各地で起こっているごみ屋敷等、解決するための根拠法令等がない諸課題に対する区の対応は。

答 地域の情報を適宜受けとめ、関係する部署と生活環境条例等、法令に沿って適切に対処していく。

令和元年第3回定例区議会

一般質問 (要旨)



議員紹介は
こちらから

※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

岩田 かずひと (立民)



学校における動物飼育について

問 適切な飼育環境が整わないまま動物飼育が続けられている。酷暑の中、対策を取らずに飼育を続けるのは虐待ともいえる。情操教育は別の方法でも行える。動物飼育をやめるよう検討を。

答 獣医師等の意見を踏まえ、適切な飼育指導や設備の充実などに努める。

プラスチックごみについて

問 プラスチックごみ問題は世界規模の課題である。リサイクルによるごみ削減は限界があり、プラスチックそのものの削減が必要。区の取り組みは。

答 区の事業等において率先して廃プラスチックの削減に努める。また、廃プラスチック削減の啓発活動として、商店街と協調して共通のロゴを定め、エコバッグを配布する。

小野 なりこ (都ファ)



区の情報を的確に届ける工夫

問 区の計画、情報等をより一層区民に広く知られる工夫を。

答 知りたい情報の把握に努め、効果的な手段、時機、対象者等検討する。

区役所の働き方改革推進

問 ①東京2020大会への貢献を働き方改革でも②女性活躍や育児と介護の両立についての見解は。

答 ①区主催のイベント、大会期間中の通勤等、可能な調整と取り組みを進める②両立可能な職場は全ての職員が働きやすい環境であると認識。



牛尾 こうじろう (共産)



増税にあたり個人商店への支援強化を

問 ①個人や中小商店の地域での役割に対する区の認識は②区内商店に聞き取り調査を行い、実態に即した支援を。

答 ①地域コミュニティの拠点である商店街を形成する、重要な存在である②商工関係団体を通じて、各商店への丁寧な聞き取りと実態把握に努める。

高齢者への住宅支援の拡充を

問 ①借上型高齢者住宅の増築を②連帯保証人なしで区営住宅へ入居できるよう、規定の改正を。

答 ①令和6年度までに65歳以上の人口に対し5%を供給するという指標に基づき取り組む②民法の改正内容も踏まえ、特別区住宅担当課長会で協議中。今後、結論を出していく。

岩佐 りょう子 (立憲)



アプリ活用でコミュニケーション支援

問 音声を認識し文字化するアプリは障害者や高齢者、外国人等多様な人が対等にかかわるためのツールとして有効であり、自治体等で幅広く活用されている。区でも活用検討を。

答 セキュリティ上の課題があり導入は困難だが、情報収集し、音声を文字化できる新たな仕組みを検討する。

プライバシーに配慮した窓口について

問 生活保護や障害等デリケートな事柄を扱う窓口は、来庁者のプライバシーに加え心理的負担に対する配慮が必要。本庁舎3階の窓口はオープンな仕様だが配慮ある仕様とするよう検討を。

答 庁舎のスペースや管理上の制約で個室確保は難しいが、カウンターに工夫を凝らすなど、改善策を検討する。

飯島 和子 (共産)



選挙投票率の向上と主権者教育

問 ①参院選選挙公報が投票日2日前に届くのは遅い②主権者意識の育成・啓発事業の評価と今後の計画は③現実の政治・社会問題について教師が自身の見解を押しつけではなく一つの意見として述べることは「政治的中立」を損なうこととは異なるのでは。また、大学入試の英検導入等生徒自身の問題は、校内・外でも積極的に話し合うべき。

答 ①連休等が要因。今後、関係機関と調整する②本区の投票率は都内でも高く、選挙管理委員会の地道な取り組みも貢献しているものと認識。今後は若年層を対象に主権者教育を検討③教員自身の意見表明は児童・生徒自身による対話や議論を委縮させる場合もある。また、児童・生徒自身による対話や議論を自分たちの問題として行うことは主権者教育にとって有益と考える。

はやお 恭一 (自民)



医療・介護の確保に向けた取り組みを

問 団塊の世代が75歳以上となる2025年に向け、医療と介護の提供に関して本区で将来的に見込まれる需要とそのニーズに応えるための体制の整備は。

答 2025年の病床数の必要量に対し、現状は急性期・回復期・慢性期機能が不足。地域医療構想調整会議の動向等、在宅医療のニーズに対応できる医療資源の確保について確認していく。

医療と介護の連携と今後の方向性

問 地域医療構想と地域包括ケアシステムは密接に関係。医療と介護の切れ目ない支援には在宅療養を支援する老健や訪問看護が必要では。

答 次期介護保険事業計画策定では医療介護総合確保法や制度改正の動向を踏まえ、高齢者の安心の確保に取り組む。

令和元年第3回定例区議会

定例区議会活動報告

常任委員会



常任委員会では、議案13件を審査しました。議案の審査経過をご紹介します。
なお、審議結果は10ページをご覧ください。

企画総務委員会

議案7件のうち、主な議案の審査経過は以下のとおりです。

「区立お茶の水小学校・幼稚園解体工事請負契約について」は、本工事に関する請負契約を締結するため、条例の規定に基づき議会の議決に付すものです。

〈審査経過〉

質疑の中で、幼稚園舎の解体工事の実施時期については、関係者と協議・検討し、決定していきたいと区が考えていること。

予定価格を事前公表することにより、最低制限価格の想定が容易になることと、入札の透明性、競争性の確保とのバランスをどのようにとっていくのかということについては、社会経済情勢の変化や他自治体の動きを見ながら今後も検討し、より良い契約制度にしていきたいと区が考えていること等が明らかになりました。

「代官町通り歩道拡幅工事請負契約の一部変更について」は、平成29年第4回区議会定例会において議決された代官町通り歩道拡幅工事請負契約について遮熱性舗装工事の追加による経費の増により、契約変更するため条例の規定に基づき議会の議決に付すものです。

〈審査経過〉

質疑の中で、区の「地球温暖化対策地域推進計画2015」で遮熱性舗装、緑陰、ドライミスト等の工夫を用いて涼しい道を実現していく「涼風の道」という考え方を示したが、今年度に入ってから導入場所を検討した結果、東京2020大会会場のすぐ近くで、千鳥ヶ淵緑道と接続する代官町通りを選定し、大会前に遮熱性舗装を実施することとしたこと。

現在進行中である当該通りの歩道拡幅工事と並行して遮熱性舗装を実施することにより、間接経費がかからず経済性、効率性がよく、東京2020大会開催前に確実に工事が終わるため、契約変更することとなったこと。

区が当初予定していなかった工事を今後実施しようとする場合には、その必然性について慎重に検討し、議会に十分な説明をしてから実施していくこと。

遮熱性舗装は基本的に車道で実施しており、遮熱材については、厚さ1ミリの塗装で推奨期間が約10年であること。

遮熱性舗装は明大通りと神田警察通りですでに実施しており、その効果を確認してほかにも広げていきたいと区が考えていること等が明らかになりました。

地域文教委員会

議案5件のうち、主な議案の審査経過は以下のとおりです。

「千代田区印鑑条例の一部を改正する条例」は、法令改正により、住民票の記載事項に旧氏きゅうじが加えられることに伴い、印鑑登録原票に登録する事項に旧氏を加える等規定を整備するものです。

〈審査経過〉

質疑の中で、希望すれば手続きを経て、旧氏が併記されること、旧氏がいくつかある場合、その中から一つ選択できるが、原則として変更はできないこと等が明らかになりました。

「千代田区立内幸町ホールの指定管理者の指定について」は、令和2年4月から令和7年3月までを指定期間として、株式会社コンベンションリンケージを区立内幸町ホールの指定管理者に指定するものです。

〈審査経過〉

質疑の中で、1者のみの応募であったが、一定の募集期間を設けて公募しているため、公平性は確保されている。次の選定では複数の応募があるよう研究をしていくと区が考えていること、指定管理者制度の導入以降、利用稼働率は年々上がっており、平成30年度はかなり高い稼働率で利用者からの評価も高いこと等が明らかになりました。

議員提出議案「千代田区子どもの遊び場に関する基本条例の一部を改正する条例」は、子どもの遊び場整備を一層、推進するため、区は整備方針を策定し、子ども、保護者の意見を十分に聴取し、反映するよう努めなければならないという努力義務を当該基本条例に追加するものです。

〈審査経過〉

質疑の中で、提案者は子どもや保護者がどのような遊び場を求めているのか声を聞き、区としての整備方針を策定することが施策の充実につながると考えていること。対して区は当該基本条例によって既に整備方針を示し実行していると考えていること等が明らかになりました。

また、土地の購入も視野に入れるとなると、用地のあてがない中で、保護者に過度な期待感を抱かせてしまうのではないかと、区に努力義務を課すのではなく、我々議員も子どもや保護者の声を聞き、調査をしながら、空いている場所を見つける等、条例の趣旨に沿った活動を行っていくべきなのではないか等の意見がありました。

令和元年第3回定例区議会

定例区議会活動報告

常任委員会



保健福祉委員会

議案1件の審査経過は以下のとおりです。

「千代田区災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例」は、災害弔慰金の支給等に関する法律及び同法施行令の改正に伴い、災害弔慰金及び災害障害見舞金の支給に関する事項を調査審議するための附属機関の設置について定めるとともに、併せて必要な規定整備を行うものです。

〈審査経過〉

附属機関である「千代田区災害弔慰金等支給審議会」の委員には、医師、弁護士その他、避難所運営を担当する自治体責任者も加わることを想定していること。審議会の委員構成は、災害の規模や被害状況を踏まえ、柔軟に対応する予定であること。災害弔慰金を給付できる遺族の範囲は、法律の規定によること。区独自に災害関連死の認定基準を定める必要があること等が明らかになりました。

区からの報告3件の内容は以下のとおりです。

「自立支援センター千代田寮の整備に係る準備状況について」は、令和2年8月に神田橋公園地内（神田錦町一丁目29番地）で開所予定の自立支援センターについて、施設概要や住民周知の方法、地域連絡協議会の設置や今後の予定について報告がありました。

「『いきいきプラザ一番町』レストラン終了後の利用について」は、今年7月末で終了したレストランのスペースを社会福祉協議会が借り受け、大規模改修までの間、一番町はあとサロン等の事業に暫定利用していくことの報告がありました。

「民泊指導の現状報告」は、合法民泊の届出件数と相談件数の推移、届出事業者に対する現地調査、指導、講習会による指導育成状況の報告と、違法民泊及びウィークリーマンションに対する実態調査、指導、取締り状況の報告がありました。

■ちよだ区議会だよりをスマホで！

各自治体の広報紙やニュースが閲覧できる無料アプリ「マチイロ」で「ちよだ区議会だより」を配信しています。スマートフォンや、タブレット等で、いつでも手軽にちよだ区議会だよりをお読みいただけます！ぜひ、下の2次元コードからダウンロードしてください。

 マチイロ
まちを好きになるアプリ



特別委員会



オリンピック・パラリンピック対策特別委員会

区より様々な気運醸成事業の実施報告がありました。しかし、事業の事前周知が不足している点や他のスポーツのようにパブリックビューイングを区低未利用地等で実施し、気運醸成と共に地域コミュニティを活性化させるような事業を展開すべき等の指摘がありました。聖火ランナーの選考では、区内を走行希望区間として132名の応募があり、区選考等委員会の選考により区民に限定し、6名を都実行委員会に推薦したことが明らかになりました。

景観・まちづくり特別委員会

都市計画マスタープランの改定状況及び景観まちづくり計画の策定状況について区から報告がありました①都市計画マスタープランの改定骨子の前段階である「中間のまとめ」については11月中に意見聴取と公聴会を②景観まちづくり計画素案については11月上旬までにパブリックコメントと公聴会を実施し、それぞれの計画の改定及び策定に向けて広く区民等の意見を聴取していくことを確認しました。

災害時要配慮者等対策特別委員会

区内の障害者・高齢者施設の停電対応について、各施設の法定非常電源状況や停電時の課題について報告がありました。また、法定非常電源のみでは、停電が長引いた場合、施設運営継続が困難となること等が明らかになりました。

その中で、非常電源の設置場所、稼働可能時間等について議論が行われ、福祉避難所に指定される施設の視察を行うこととしました。

文化財保存・活用特別委員会

四番町歴史民俗資料館廃止の経緯、文化財指定に向けた手続き、文化財行政の経過等について説明があり、質疑の中で、一定の空調管理ができる前提で、文化財を四番町から日比谷図書文化館に移設したこと、指定文化財台帳の整備を計画的かつ早急に進めていくこと、将来的には博物館法に基づく登録博物館を目指していきたいと区が考えていること等が明らかになりました。また、文化財保護審議会委員との懇談を行うことを確認しました。



決算特別委員会

当委員会に審査を付託された議案「平成30年度千代田区各会計歳入歳出決算の認定について」は、全議員で構成する決算特別委員会を設置し、審査しました。委員会では、多岐にわたる分野の調査が必要なことから、企画総務、地域文教、保健福祉の3つの分科会を設置し、詳細に調査を行いました。その後、総括質疑を行い様々な事業や施策に対して活発な議論が行われました。その中で「(仮称)四番町公共施設整備」に係る仮園舎用地や仮図書館の交渉過程における文書管理、政治活動における区長の公私混同について引き続き審査する必要があるとの意見がありました。それらの意見を踏まえ、本議案の取扱いについて諮った結果、全会一致で継続審査することになり、議長に申し出ました。

可決した意見書

予防接種の円滑な実施を求める意見書

予防接種は国民の生命と健康を守る重要な事業であります。特に子どもの予防接種は次代を担う子どもたちを感染症から守り、健やかな育ちを支える重要な役割を果たしています。

この度、乳幼児の重い胃腸炎の原因になるロタウィルスのワクチンについて厚生労働省の部会では定期接種の対象とすることを固めたことは評価できることです。

予防接種が定期接種となった場合は、全額が市区町村の負担とされており、すでに定期接種化されているものも含め、すべての接種費用を市区町村が負担することは非常に困難な状況となっているのも事実です。安全かつ安定的な予防接種を継続するためには、国が責任を持って実施に必要な財源を確保することが不可欠であります。

よって、千代田区議会は、政府に対し下記事項についての対応を強く求めます。

記

1. 予防接種の定期接種について、自治体の財政基盤や被接種者の経済状況によらず希望する対象者がすべて接種できるよう既存の予防接種も含め国の責任において財源を地方交付税によらず全額保障すること。
2. ワクチンの安定供給対策を十分に講じるとともに、諸外国に比べワクチン価格が全体的に高額であることから、適正な価格設定となるよう取り組むこと。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出します。(提出先) 内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣

可決した決議

北朝鮮による弾道ミサイルの発射に対して抗議する決議

令和元年10月2日、朝鮮民主主義人民共和国による弾道ミサイルの発射が政府により確認された。

同国は、日本を含む全世界からの強い抗議要請にも関わらず度重なる弾道ミサイルの発射を行い、今回も我国の排他的経済水域内へ着水したと見られ、看過できない極めて深刻な事態である。

これは、恒久平和を希求する全世界の人々の願いを蹂躪する行為であり、国際社会の平和と安全を著しく損なう行為である。

千代田区議会としては「国際平和都市千代田区宣言」のもと、このような平和と安全を脅かす暴挙を容認することはできない。

よって、今回の同国の行為に対して厳重に抗議する。
以上、決議する。

本会議における討論(要旨)

今定例会では、次の2件の議案を採決するにあたり、討論がありました。その要旨をご紹介します。

1. 千代田区子どもの遊び場に関する基本条例の一部を改正する条例 **否決**

【反対の意見】

子どもや保護者の要望に応えることは既に条例に盛り込まれ実行されている。区は「ふじみこどもひろば」と「くだんしたこどもひろば」を開設し、子どもの遊び場の整備を着々と実現しており、今後も条例に則り遊び場整備を更に推進することを求める。以上により本案に反対する。(嶋崎)

【賛成の意見】

第一に本案は区に子どもや保護者の意見を聞く義務を課していること、第二に整備に関する方針の策定を課していること、第三にこうした一連の取り組みが本格的な遊び場づくりにつながるからである。現条例では子どもや子育て世代の要望を受けとめるには限界がある。以上により本案に賛成する。(飯島)

2. 人工内耳装用者への支援に関する意見書 **否決**

【反対の意見】

高額な医療費負担は健康保険や自立支援医療制度で助成されている点、他にも補助や助成の制度がある点、国や団体で見解の相違がある点を踏まえ、国等の制度における整合性等、本区で現状を調査し適宜適切な制度設計について十分な研究を行う必要がある。以上により本案に反対する。(山田)

【賛成の意見】

人工内耳の維持修理費用は健康保険が適用されず、補聴器では十分な補聴が得られない重度難聴者にとって大きな負担となっている。また、国会では難聴対策推進議員連盟が発足し難聴者の支援拡充に向けた取り組みが進んでおり、それを後押しすることになる。以上により本案に賛成する。(牛尾)

天皇陛下御即位を祝す賀詞の奉呈について

賀詞

天皇陛下におかせられましたは
風薫るよき日に御即位されました
ことは皇居が位置する千代田区にとりまして まことに慶賀に
たえないところであります

天皇皇后両陛下が御清祥であられ
令和の時代が希望に満ち 末永き
弥栄を心からお祈り申し上げます
ここに千代田区議会は 謹んで
慶祝の意を表します

令和元年九月二十五日

千代田区議会

委員会で取り扱った請願・陳情（令和元年7月17日～令和元年11月18日）

※詳細は、区議会ホームページでご覧になれます。

請願・陳情名（受付順に掲載）	送付委員会 （ ）は参考送付	審査状況 （令和元年11月18日現在）
辺野古新基地工事の即時中止と「日米地位協定」見直しを求める請願書	企画総務委員会	継続審査
千代田区都市計画マスタープラン改定を住民参加型で進めることを求める陳情	企画総務委員会	審査終了
駐車禁止に関する陳情書	（地域文教委員会）	審査終了
東京都に千代田区三番町26計画の慎重な扱いを求める意見書提出を要望する陳情	企画総務委員会	審査終了

令和元年第3回定例区議会 会期日程〈会期:9/25～10/23までの29日間〉

月／日	本会議・委員会関係日程	月／日	本会議・委員会関係日程
9/25	議会運営委員会	10/10	災害時要配慮者等対策特別委員会
	本会議(会期の決定・区長招集あいさつ等)		文化財保存・活用特別委員会
26	議会運営委員会	11	オリンピック・パラリンピック対策特別委員会
10/ 2	議会運営委員会		景観・まちづくり特別委員会
	本会議(代表質問・一般質問)	15	議会運営委員会
3	議会運営委員会	16	決算特別委員会(総括)
	本会議(一般質問・議案の付託等)	17	決算特別委員会(総括)
	決算特別委員会	18	企画総務委員会
4	企画総務委員会		地域文教委員会
	地域文教委員会		保健福祉委員会
	保健福祉委員会	21	議会運営委員会
7	決算特別委員会		議会運営委員会
8	決算特別委員会(分科会)	23	議会運営委員会
9	決算特別委員会(分科会)		本会議(議案の議決等)

7月～9月の主な活動

月／日	日 程	月／日	日 程
7/16	政務活動費交付額等審査会(開会に至らず)	8/29	文化財保存・活用特別委員会・国内行政調査
18	区民集会運営協議会		【文化財保存状況の現地調査について】
23	千代田区平和使節団議員派遣(～7/26)【沖縄・鹿児島：うがい友義議員】	9/10	政務活動費交付額等審査会
25	議会運営委員会(開会に至らず)	13	景観・まちづくり特別委員会
	企画総務委員会	17	区民集会運営協議会
	地域文教委員会		企画総務委員会
	保健福祉委員会		地域文教委員会
8/ 5	千代田区平和使節団議員派遣(～8/7)【広島：小野なりこ議員】		保健福祉委員会
8	千代田区平和使節団議員派遣(～8/10)【長崎：長谷川みえこ議員】	18	〈令和元年第3回千代田区議会定例会告示日〉
26	議会運営委員会		議会運営委員会
	企画総務委員会	24	議会運営委員会
	地域文教委員会		



議案の審議結果等（令和元年第3回定例区議会）															可…可決/否…否決/採…採択/不…不採択 ○…賛成/×…反対/欠…欠席/退…退席/除…除斥																			
議 員 名 等 ※議員名の下段は、会派名略称		議 案 名 等	出 席 者 数	投 票 数	賛 成	反 対	議 決 結 果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	議 決 月 日	
								小 野 な り こ 都 フ ア	岩 佐 り よ う 子 立 憲	長 谷 川 み え こ 紡 ぐ 会	小 枝 す み 子 至 誠 会	秋 谷 こ う き 至 誠 会	岩 田 か ず ひ と 立 民	小 林 た か や 自 民	う が い 友 義 自 民	西 岡 め ぐ み 自 民	飯 島 和 子 共 産	牛 尾 こ う じ ろ う 共 産	木 村 正 明 共 産	池 田 と も の り 自 民	山 田 丈 夫 自 民	永 田 壮 一 自 民	内 田 直 之 自 民	た か ざ わ 秀 行 自 民	は や お 恭 一 自 民	米 田 か ず や 公 明	大 串 ひ ろ や す 公 明	林 則 行 自 民	嶋 崎 秀 彦 自 民	河 合 良 郎 自 民	桜 井 た だ し 自 民	小 林 や す お 自 民		
委 員 会 提出議案	予防接種の円滑な実施を求める意見書		25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	議 長 は 採 決 に 加 わ り ま せ ん	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10/23		
議 員 提出議案	天皇陛下御即位を祝す賀詞の奉呈について		25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/25	
	北朝鮮による弾道ミサイルの発射に対して抗議する決議		25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10/3	
	千代田区子どもの遊び場に関する基本条例の一部を改正する条例		25	24	6	18	否	×	×	○	○	×	○		×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	10/23		
	人工内耳装用者への支援に関する意見書		25	24	10	14	否	○	○	○	○	×	○		×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	10/23		
区 長 提出議案	千代田区人事行政の運営等の状況の公表に関する条例等の一部を改正する条例		25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	採 決 に 加 わ り ま せ ん	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10/23		
	千代田区選挙長等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例		25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10/23	
	職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例		25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10/23	
	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例		25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10/23	
	千代田区手数料条例の一部を改正する条例		25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10/23	
	千代田区印鑑条例の一部を改正する条例		25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10/23
	千代田区災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例		25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10/23
	千代田区立九段中等教育学校教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例		25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10/23
	幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例		25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10/23
	区立お茶の水小学校・幼稚園解体工事請負契約について		25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10/23
	代官町通り歩道拡幅工事請負契約の一部変更について		25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10/23
	千代田区立内幸町ホールの指定管理者の指定について		25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10/23
	千代田区保育施設等運営基準条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例		25	24	21	3	可	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/25
	平成30年度千代田区各会計歳入歳出決算の認定について		継 続 審 査																															
報 告	平成30年度千代田区財政健全化判断比率について																											10/3						
	代官町通り歩道拡幅工事請負契約の一部を専決処分により変更した件について																											10/3						
	公の施設を利用する権利に関する処分についての審査請求について																											10/3						

◆ 千代田区議会議員 条例定数25名 現員数25名
◇ 会派名 千代田区議会 自由民主党(自民)／日本共産党区議団(共産)／公明党議員団(公明)／千代田を紡ぐ会(紡ぐ会)／ちよだの声(声)／立憲民主党 新生ちよだ(立民)／立憲政策フォーラム(立憲)／都民ファーストの会 千代田区議会 (都ファ)／千代田至誠会(至誠会)

報 告 令和元年台風第19号に関する議会対応

■議会災害対策支援本部を設置

令和元年10月12日(土)、台風第19号の接近・上陸に伴い、区は「災害対策本部」を設置し区内14ヶ所に避難所を開設しました。これを受け、区議会も「区議会災害対策支援本部」を設置し情報連絡態勢をとりました。

■義援金を送付

令和元年11月12日、大きな被害を受けた姉妹提携都市の孺恋村に区議会議員全員による義援金25万円をお送りしました。



■区議会だより編集委員会の構成

◎委員長 ○副委員長

◎ 桜 井 ただし (自民)

- 河 合 良郎 (自民)
- 岩 佐 りょう子 (立憲)
- うがい 友義 (自民)
- 牛 尾 こうじろう (共産)
- 山 田 丈夫 (自民)
- ／ 小 野 なりこ (都ファ)
- ／ 長谷川 みえこ (紡ぐ会)
- ／ 西 岡 めぐみ (自民)
- ／ 池 田 とものり (自民)
- ／ 米 田 かずや (公明)



日比谷公園 ソーラー時計